



編集に奮闘する橋本さん(左)と大住さん

トライやる・ウィーク 西淡中学生が ケーブルテレビ の仕事を体験!

西淡中学校2年の大住彩寧^{あやね}さんと橋本あかりさんが9月6日、「トライやる・ウィーク」の取り組みで南あわじ市ケーブルテレビの仕事を体験しました。二人は、編集機を使って「わたしたちおすすめの慶野松原」と題した番組を編集。どのように編集すれば自分たちの思いが視聴者により伝わるかを考えながら奮闘しました。出来上がった番組は実際に放送されました。



カメラ操作も体験



ナレーションにも挑戦!

二人が編集した番組は
YouTube でご覧いただけます!



サッカー交流試合の様子(青ユニフォームが淡路島チーム)

スポーツ交流を通して国際的視野を学ぶ

淡路島・南海島サッカー交流

9月1日～3日、淡路島3市と大韓民国慶尚南道南海郡(南海島)の中学生による交流行事が開催されました。お互いの国の文化や伝統の理解などを目的に隔年で相互訪問を行い、サッカー交流を実施しています。

交流団体として、淡路島からはトレセンU14の選手19人が参加。南あわじ市からは7人が選ばれました。また、南海島からは選手22人を含む31人が淡路島を訪問。選手らは、歓迎交流会や五色台運動公園アスパ五色でのサッカー交流試合で親睦を深めました。



01



02



03



04



05

私たちが考える新しい防災のかたち ユース防災プロジェクト

8月21日～23日にかけて「ユース防災プロジェクト」が国立淡路青少年交流の家で開催され、市内小中高生をはじめ徳島県や宮城県の学生など県内外から合計46人が参加しました。

同プロジェクトの活動プログラムは、南あわじ市と教育協定を結ぶ学校の高校生および大学生が実行委員となり、1年近くかけて準備を進めてきました。「世代や地域が異なる人との協働」を中心とした防災ワークショップを通して、今の自分に何ができるのかを「自分ごと」として考える機会となりました。宮城教育大学の柴田啓介さんは、「この南あわじ市で、防災教育に対して強い思いを持った仲間とのつながりができた」と語ってくれました。

- 01 外国人観光客の避難路マップ作成のため情報を集めました
- 02・03 参加者らがそれぞれの立場で守本市長に自分たちの考えを提言
- 04 防災すごろくを通して「分かち合い」の大切さに気が付いた参加者ら
- 05 避難所での「子どもの遊び」について考えました

負傷した消防団員を救助

橋本寿代さんらに感謝状

令和4年9月19日、台風14号に対する警戒巡視のため消防屯所で準備をしていた市消防団員が、強風で勢いよく開いた扉に当たり転倒。頭部を打って重傷を負っていました。

車で通りがかった橋本寿代さん、悠希さん、沙奈さんが、消防団員を発見。119番をし、救急搬送依頼しました。適切な救助のおかげで消防団員は順調に回復し、現在は職場復帰しています。

8月31日、市役所で感謝状贈呈式があり、橋本寿代さんと沙奈さんが出席。守本市長と市消防団の金崎由希生副団長から、謝辞がありました。



負傷した消防団員を救助した橋本寿代さん(中央)、沙奈さん